

「つばめアール・ブリュット×ものづくり展」開催

－燕市初！障がいのある作家がありのまま表現したアート展です－

燕市では、「つばめアール・ブリュット×ものづくり展」を、10月4日からSORAIRO 国上（道の駅国上）で、10月21日から燕市役所で初開催します。本アート展は、障がいのある人が既成概念にとらわれない自由な発想で創作した絵画を、市内企業が製作した金属製のデザイン額縁で額装して展示します。本アート展を通じ、多くの方から気軽にアートに触れていただくことで、作家の創造力や表現力を感じていただきます。

【「つばめアール・ブリュット×ものづくり展」の概要】

【第1期】※最終日は午前11時まで

- 1.日時：10月4日（火）～20日（木） 午前10時～午後6時
- 2.会場：SORAIRO 国上（道の駅国上） ファーマーズマーケット

【第2期】※最終日は午前11時まで

- 1.日時：10月21日（金）～31日（月） 午前8時30分～午後5時15分
（土・日・祝日を除く）
- 2.会場：燕市役所庁舎 エントランス

【展示内容（第1期・第2期とも共通）】

6人の作家の絵画9点（予定）を、市内企業が製作した金属製のデザイン額縁で額装して展示します。なお、額縁製作については、市内の障がい福祉サービス事業所に通っている利用者から、部品の貼り付け等に携わっていただきます。



つういたかま

〈作品例〉【絵画】筒井貴希「魚のアメ横」×【額縁】(有)フカウミ「記憶の窓」
筒井 貴希氏：見たものを一瞬で全て記憶し、記憶だけで一気に詳細な風景を描き上げます。
フランスの美術展に出展されるなど海外でも高く評価されています。

※アール・ブリュット

アールは「芸術」、ブリュットは「加工されていない」という意味のフランス語で「生(き)の芸術」とも呼ばれます。専門の美術教育を受けていない人が制作した既存の価値観にとらわれない芸術作品を指します。

本件についてのお問い合わせ先
健康福祉部 社会福祉課：齋藤、西川
電話：0256-77-8172（直通）